

熱血！高校生販売甲子園、大盛況

昨年11月17日～18日の午後、高崎市の連雀町大手前通りは、高校生の売り声と市民の人混みで熱気に包まれていました。今年で第11回となる高校生販売甲子園の会場です。私も、興味津々で出かけて行きましたが、ちょうどお昼時、取材を忘れ、食い気につられて、あちこちのお店で買い食いしてしまいました。

販売甲子園とは

高校生が、地域や学校に根ざした商品を高崎中心市街地で販売し、優勝を競い合うイベントです。約3か月前から準備を始め、独自の商品を作り上げます。お客は、店舗を回って商品を購入し、最も心を揺さぶられたチームに投票します。

27の高校が参加、出店

今年の参加高校は26校27チーム。県内から明和県央高校、館林商工高校、渋川青翠高校、桐生第一高校A・B、桐生南高校、富岡実業高校、利根商業高校、新島学園高校、第一学院高等学校高崎キャンパス、中央中等教育学校、高崎経済大学附属高校、富岡高校、長野原高校、桐生高校、太田工業高校、尾瀬高校、吉井高校、伊勢崎商業高校、伊勢崎興陽高校、安中総合学園高校、高崎商科大学附属高校、勢多農林高校、県外から岩倉高校（東京）佐野清澄高校（栃木）、須崎高等学校（高知）、須坂創成高等学校（長野）。

販売商品は、焼き鳥、煮込みうどん、おきりこみ、焼き餃子、おでん、梅すいとんなどの伝統料理、さらにはホットドッグ、ソースカツバーガー、シフォンケーキ、マフィン、クレープ、パウンドケーキ、レモンケーキ、チーズタルト、焼きドーナツ、マドレーヌ等のケーキ類。そして、組み合わせの飲物が嬉しい。野菜スープ、ミネストローネ、豆乳コア、チャイティー、タピオカジュース。



なんと、県外からも参加していました。須坂創成高校は「ゴボウスープ」一品で勝負、須崎高校は焼きカツオ・鍋焼きラーメン・芋ケンピと土佐を売り込んで、佐野清澄高校はいちごのパウンドケーキや焼き餃子で、岩倉高校はお米・お餅・お水に豆乳で水自慢でしょうか。

それぞれ熱心な先生や生徒がエントリーしたとのことでした。

苦勞もしたけど協力できて楽しい

富岡高校が地味なしいたけ料理に奮闘しています。「マッスルしいたけ」と名付けた一品は、地元特産のしいたけに鶏ひき肉をつめてオーブンで焼いたもの。ひき肉の繋ぎにおからを使ったアイデア料理。行列ができています。



生徒に聞いてみました。「初めて参加しましたが、商品を作るまで色々苦勞して大変でしたが、みんなで相談したり協力できて、楽しかった！」（取材・瀧口典子）